

株式会社 北九州パワー

I 法人の概要 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

- 1 所在地 北九州市戸畑区中原新町 2 番 1 号
- 2 設立年月日 平成 27 年 12 月 1 日
- 3 代表者 代表取締役 千歳 昭博
- 4 資本金 60,000 千円
- 5 北九州市の出資金 14,500 千円 (出資の割合 24.17%)
- 6 役員員数

| | 人 数 | | | |
|-----|-----|-----------|---------|-------|
| | 合 計 | うち本市からの派遣 | うち本市退職者 | うちその他 |
| 役員 | 8 人 | 1 人 | 0 人 | 7 人 |
| 常 勤 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 非常勤 | 8 人 | 1 人 | 0 人 | 7 人 |
| 職員 | 6 人 | 1 人 | 0 人 | 5 人 |

II 平成 28 年度事業実績

(1) 事業報告

【事業の経過・取巻く環境】

低炭素エネルギーの地産池消による「市内産業の下支え」と「市内の低炭素化」の実現を掲げ平成 27 年 12 月 1 日に設立された当社は、4 か月間の準備期間を経て、翌年 4 月 1 日より電力供給を開始し、「皇后崎・日明工場で生じる電力を市内公共施設に送り届ける」という当初の目的を無事達成した。

一方、電力業界においては電力小売全面自由化という大きな変革の流れのもと、経済産業省に登録された小売電気事業者は 300 社を超え (平成 29 年 3 月 31 日時点では 398 事業者)、九州地区 (高圧受電) の小売電気事業者のシェアは、平成 28 年 4 月時点における約 7.6% から、本年 1 月には約 14.2% にまで増加するなど、事業者間でのし烈な価格競争・シェア争いが展開されている。

また、電力小売事業において収益に大きく影響を及ぼす電力取引市場の市場取引価格が、化石燃料価格の暴落 (平成 28 年 1 月トバ原油価格 : 26 ドル/バレル) に連動して安価に推移したことが、この価格競争にさらに拍車をかける結果となった。

【事業の成果】

このように厳しい環境下ではあったが、顧客は開業時の 104 施設・契約規模 14.6 千 kW (全て高圧契約の北九州市公共施設) から、1 年間で 146 施設・契約規模 18.5 千 kW (民間施設を含む) まで伸長させた。

当期の小売販売量は 32,528MWh、卸売販売、並びに余剰分市場販売を含めた取扱電力量は 73,588MWh であり、これに伴う売上高 1,038,068 千円、経常利益は 176,376 千円、当期純利益は 118,279 千円を計上し、操業初年度の最重要課題であった経営基盤固めの基礎を築くことができた。

Ⅲ 平成 28 年度決算

貸借対照表 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

(単位：円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|--------------------|-------------|--------------------|-------------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 【 流 動 資 産 】 | 473,566,320 | 【 流 動 負 債 】 | 330,421,339 |
| 現金及び預金 | 196,275,425 | 買掛金 | 218,628,378 |
| 売掛金 | 277,185,618 | 未払金 | 254,872 |
| 前払金 | 105,277 | 未払費用 | 31,817,994 |
| 【 固 定 資 産 】 | 19,874,784 | 預り金 | 45,395 |
| 無形固定資産 | 2,041,667 | 未払消費税等 | 21,577,900 |
| ソフトウェア | 2,041,667 | 未払法人税等 | 58,096,800 |
| 投資その他資産 | 17,833,117 | 負債の部合計 | 330,421,339 |
| 敷金 | 1,305,450 | 純 資 産 の 部 | |
| 差入保証金 | 16,527,667 | 科 目 | 金 額 |
| | | 【 株 主 資 本 】 | 163,019,765 |
| | | 資本金 | 60,000,000 |
| | | 利益剰余金 | 103,019,765 |
| | | その他利益剰余金 | 103,019,765 |
| | | 繰越利益剰余金 | 103,019,765 |
| | | (うち当期純利益) | 118,279,904 |
| | | 純資産の部合計 | 163,019,765 |
| 資産の部合計 | 493,441,104 | 負債・純資産合計 | 493,441,104 |

損益計算書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

(単位：円)

| 科目 | 金額 | |
|--------------|---------------|---------------|
| 【売上高】 | | |
| 売上高 | 1,038,068,115 | 1,038,068,115 |
| 【売上原価】 | | |
| 仕入高 | 742,402,310 | |
| 合計 | 742,402,310 | |
| 売上総利益 | | 295,665,805 |
| 【販売費及び一般管理費】 | | 276,948,023 |
| 営業利益 | | 18,717,782 |
| 【営業外収益】 | | |
| RPS収益 | 157,591,000 | |
| 受取利息 | 1,274 | |
| 雑収入 | 66,838 | 157,659,112 |
| 【営業外費用】 | | |
| 経常利益 | | 176,376,894 |
| 【特別利益】 | | |
| 【特別損失】 | | |
| 税引前当期純利益 | | 176,376,894 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 58,096,990 |
| 当期純利益 | | 118,279,904 |

IV 平成29年度事業計画

事業拡充の年と位置付け、当期の倍以上の小売販売量を目指す。これにより、電力収支は大きく変わり、余剰販売量が減少する一方で、市場からの補給調達量が大幅に増える見通しであることから、変動する市場単価の動向を注視しつつ、必要に応じ、電力調達計画・卸売販売計画の見直しに取組み、電源拡大も検討する。

顧客対応面では、顧客数拡大に伴う事務作業の円滑化と顧客の満足度向上に取り組む。

具体的には、上期末を目処に顧客管理システムを導入し、切替え手続きや請求手続きの効率化を図ると共に、顧客への電力使用の「見える化」を実現する。

営業面では、民間企業を中心に一層の顧客拡大(期末契約規模40千kW超)を目指し、低圧分野、特別高圧分野への対応も見据え、料金メニューの更なる充実を図っていく。

V 平成 29 年度予算

損益計画書

平成 29 年 4 月 1 日から

平成 30 年 3 月 31 日まで (単位：百万円)

| 科 目 | 金 額 |
|-------|-------|
| 売上高 | 1,636 |
| 売上原価 | 1,014 |
| 売上総利益 | 622 |
| 販売管理費 | 617 |
| 営業利益 | 5 |
| 営業外収益 | 165 |
| 経常利益 | 170 |

VI 役 員 名 簿

(平成 29 年 6 月 1 日現在)

| 役 職 名 | 氏 名 | 備 考 |
|-------|---------|----------------------------|
| 代表取締役 | 千 歳 昭 博 | |
| 取 締 役 | 近 藤 晃 | 北九州市環境局長 |
| 取 締 役 | 笠 原 英 史 | 株式会社安川電機環境エネルギー事業統括部長 |
| 取 締 役 | 松 岡 信 行 | 株式会社ソルネット取締役常務執行役員 |
| 監 査 役 | 藤 田 光 博 | 株式会社北九州銀行代表取締役 |
| 監 査 役 | 吉 野 浩 実 | 株式会社西日本シティ銀行執行役員北九州総本部総本部長 |
| 監 査 役 | 高 取 亮 | 株式会社みずほ銀行北九州支店長 |
| 監 査 役 | 幸 田 正 彦 | 福岡ひびき信用金庫常務理事 |